

〇体の一部を使ったことわざ・慣用句はどのようなものがあるでしょうか。あげてみましょう。

・目を細める（うれしそうな様子）

・目に余る（ひどくて無視できないこと）

目・目がない（とても好きなこと）

・目を皿にする（目を大きく開くこと）

・目を引く（注意を向けさせること）

・鼻が高い（得意げな様子）

・鼻につく（あきていやになること）

鼻・鼻を明かす（出し抜いて驚かすこと）

・鼻にかける（じまんすること）

・鼻を折る（はじをかかせること）

・口がかたい（言っではいけないことを言わない）

・口がすべる（言っではいけないことを言うこと）

口・口をそろえる（同じことを言うこと）

・口に合う（食べ物が好みに合うこと）

・口が過ぎる（つい言いすぎてしまうこと）

・耳が痛い（弱点をつかれて聞きたくないこと）

・耳を疑う（聞いたことが信じられないこと）

耳・耳にはさむ（ちらっと聞くこと）

・耳が早い（情報を早く聞きこむこと）

・耳を貸す（相手の相談に乗ること）

・手に汗握る（緊張したり、興奮したりすること）

・手に余る（力がおよばないこと）

手・手が焼ける（めんどろをみて苦労すること）

・手に乗る（だまされること）

・手を切る（関係をたちきること）

例

○ことばの中には、そのことばに合わせた表現にしなければならないものがあります。

次の文の（ ）の中のことばを、文に合うように形を変えてみましょう。

・決してそう（思う）↓（**思わ**）（**ない**）。 ・どうか話を（聞く）↓（**聞い**）（**てください**）。

次の文の空らんに入ることばを書き入れてみましょう。

・たぶん彼は遅刻（**するだろう・はずだ**）（**まるで夏の**）（**ような**）（**暑さだ**）。

・きつと願いはかなう（**だろう・はずだ**）（**た**とえ君が行か（**なくても**）（**私は行くぞ**）。

*こうした呼^よんだら^{こた}応えるようにセットになっていることばを、「呼^こ応^おの副^ふ詞^{くし}」と言います。

○次のことばから始まる文を作ってみましょう。

・**ぜひ** お立ち寄りください。 **ぜひ** ご検討ください。

・**おそらく** おそらく明日は晴れだろう。 **おそらく** 家に着いた頃だろう。

・**まさか** まさかここにいるとは思わないだろう。 **まさか** 怒られはしないだろう。

・**もし** 彼が来たら教えてください。 **もし** 間に合わないならば、タクシーを使おう。

例